
車窓にて

晶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

車窓にて

【Nコード】

N9007E

【作者名】

晶

【あらすじ】

北陸の地で出会った、ハートフルなお話。寒空で凍える犬。古書の売買をしている男が主人公です。幻想と現実の狭間で生まれた、優しい男のストーリー。

(前書き)

タマちゃん。

ちよつと昔の話。

ある日、僕の右の金玉が、ぴょこんと袋から、まるび出て来た。そいつには目と耳と鼻と口があつて、側面には小さなヒレまでついていた。

困ったことだと思つたが、仕方がないので、僕はそいつに食事を与えて育てることにした。

名前もつけた。元々が金玉なので、タマちゃんと呼ぶことにした。それから二ヶ月が過ぎたころ、

「今日まで育ててくれて、ありがとう。でも、もうここでは暮らせません。お願いです。どこか川の中に放して下さい」

と、タマちゃんが言った。

当時、僕は東京で暮らしていた。近くには多摩川が流れていた。

僕は、タマちゃんの願い通り、その多摩川にタマちゃんを放してあげることにした。

「さようなら。タマちゃん！」

別れは悲しかったけど、タマちゃんのためだから……。

嬉しいことに、タマちゃんは、しばらくの間、多摩川に留まっていた。その間に髭も生え、タマちゃんの愛らしい姿は、テレビにまで取り上げられるようになった。

——でも、もうタマちゃんはいない……。

寂しい……。

ところが、昨日の夜のこと、今度は左の金玉が袋から飛び出して来た——！

僕は、そいつをポニョと名づけた。

ポニョは女の子で——

信じるか信じないかは、あなたシダ類？

(後書き)

タマちゃん。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9007e/>

車窓にて

2010年10月16日14時27分発行